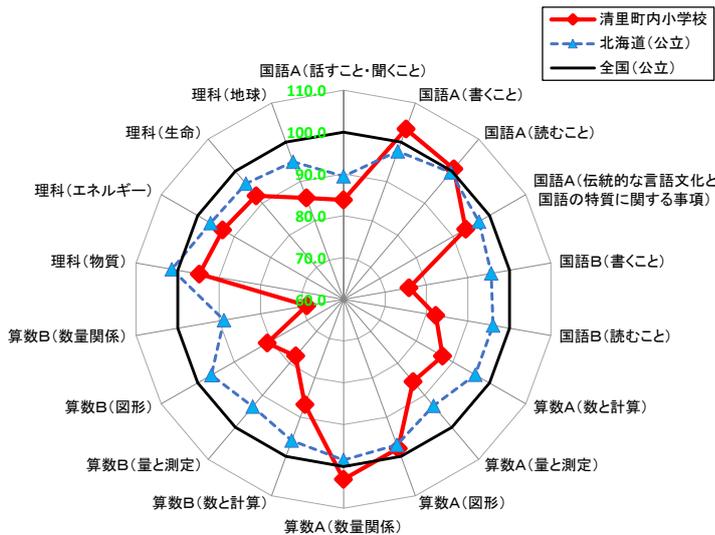


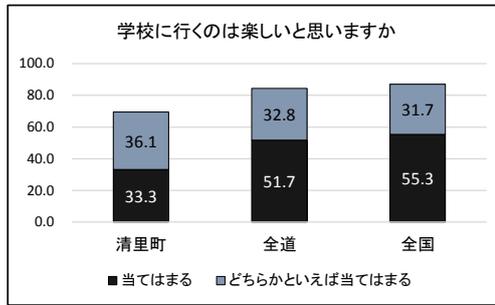
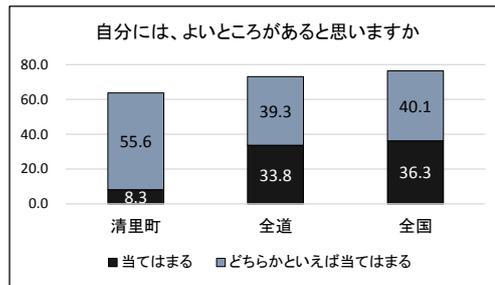
■清里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:36名)

【教科全体の状況】

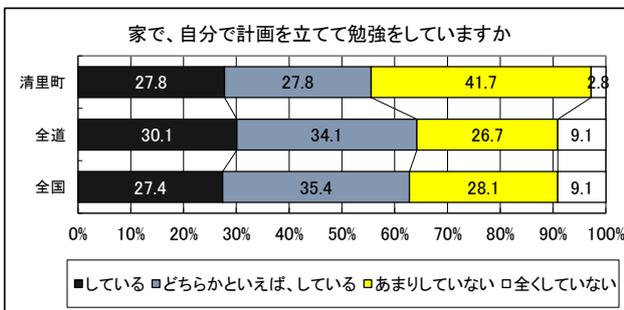
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



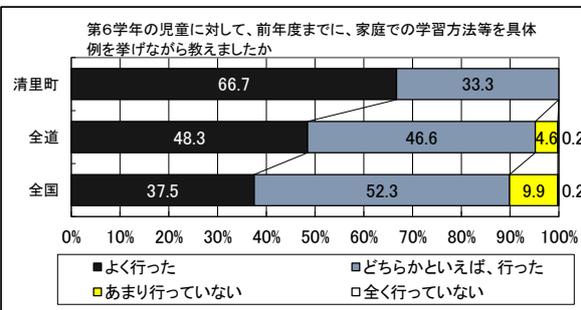
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「書くこと」「読むこと」領域が全国を上回っている。 ○ 国語Bでは「書くこと」、算数Bでは「数量関係」領域が全道を下回っている。 ○ 算数Aでは「数量関係」領域で全国を上回り、「図形」領域で全道とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、家庭学習の課題の与え方について共通理解を図っているが、「自分で計画を立てて勉強している」児童数の増加にまでは結びついていない。家庭学習の方法を教え、計画立てて学習し、学習習慣を確立するためには継続的な指導が必要である。 ○ 文章の読み取りや内容をまとめる構成力に弱さが見られるため、文章を書く時間や回数を確認していく必要がある。また、計算問題での無回答率が高い面もあり、計算スキルの継続的な指導も必要である。 ○ また、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に極めて肯定的に回答する児童の割合が低く、自己肯定感を高め、自信を持って活動に取り組む姿勢を意識的に設定するなどの学校体制づくりが必要と考える。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分にはよいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童の割合が全国を下回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に「あまりしていない」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。 	

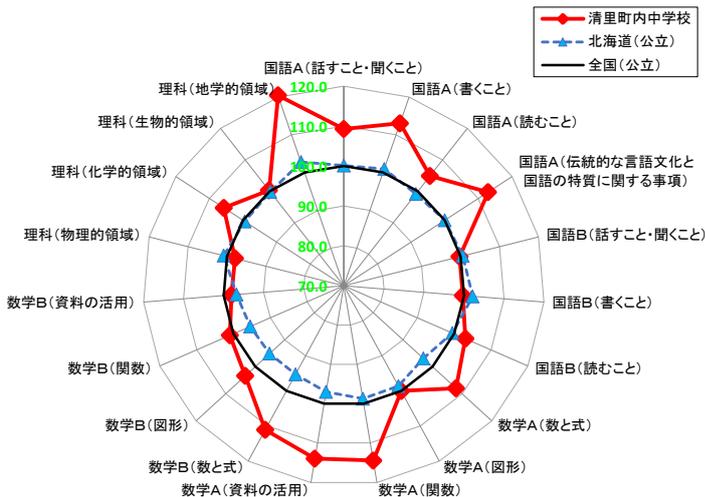
【清里町の学力向上策】

- ◎ 小中高校の連携による長期休業期間中の学習サポート教室の実施
- ◎ 加配教員を活用した習熟度別、少人数指導の実施
- ◎ 全学級への実物投影機・ペンタブレットの導入、活用
- ◎ 「清里町特色ある学校づくり推進事業交付金」による各学校独自の取組の支援

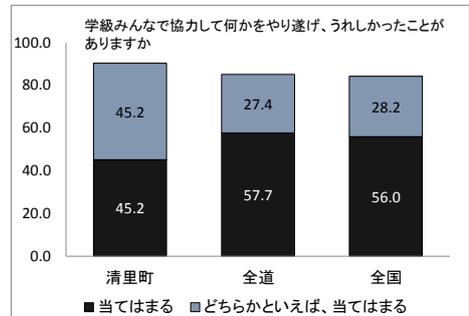
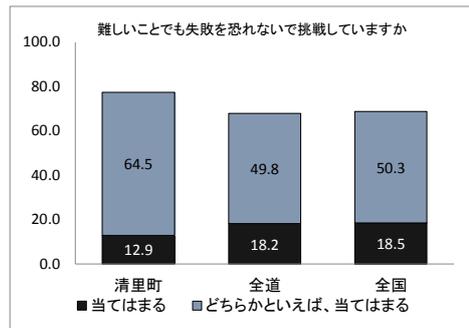
■清里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:31名)

【教科全体の状況】

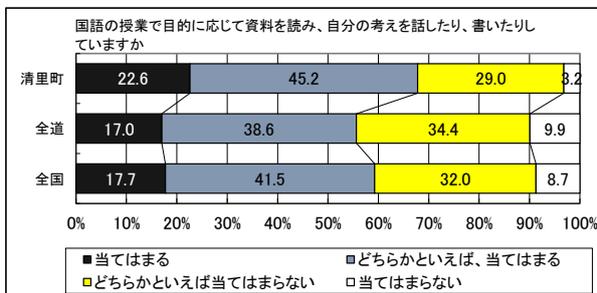
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



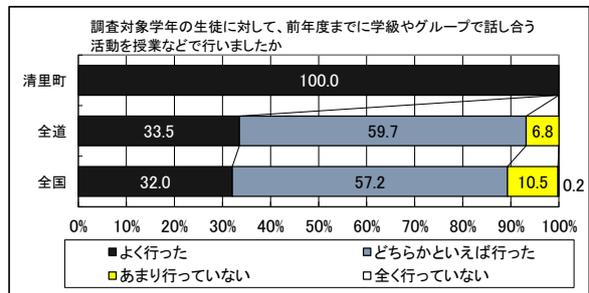
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A、数学Aで全国を上回っており、国語A「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A「関数」「資料の活用」、数学B「数と式」、理科「地学的領域」で全国を大きく超えている。	○ 「書くこと」「読むこと」などの基本的・基礎的な事項を定着させるために、自分の考えをまとめ、表現したり、生徒間で話し合う場面を多く設定していることが学力向上の成果となっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」の質問で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 ○ 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか」「学級みんなで何かをやり遂げうれしかったことはありますか」の質問で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は全国を上回っている。	○ その結果、「国語の勉強が好きである」という考えをもち、学習意欲が向上し、学力向上につながるという好循環が形成されていると考えられる。 ○ 一方で、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問には極めて肯定的に回答する生徒の割合が低く、自己肯定感を高め、自信をもって活動に取り組む姿勢を意識的に設定するなどの学校体制づくりが必要と考えられる。
学校質問紙	○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。	

【清里町の学力向上策】

- ◎ 小中高校の連携による長期休業期間中の学習サポート教室の実施
- ◎ 加配教員を活用した習熟度別、少人数指導の実施
- ◎ 全学級への実物投影机・ペンタブレットの導入、活用
- ◎ 「清里町特色ある学校づくり推進事業交付金」による各学校独自の取組の支援